

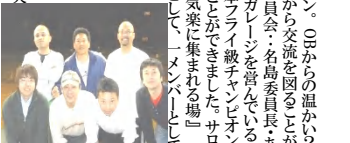
◆ 3月サロン報告 ◆

第3回 サロン開催拡大友好委員会による拡大交流の為のサロン第3回目が開催されました。今回の内容はボード&カードゲームを使うゲーム大会による親睦会の目的のもと、多くのメンバーが集まり深夜までゲームをして交流を深めました。色々やりましたが、中でも一番のお披露目は：「タブラの狼(汝は人狼なりやとも言うらし)」人狼と村人、能力者に分かれてそれぞれの身分を伏せたまま人狼は村人を村人は人狼を殺していくゲームです。殺すという何やら残酷な感じもしますが村人は民主主義で話し合いのもとターゲットを決めていく非常に奥深いゲームです。無実の村人が「流れ」の中で狼に仕立て上げられ殺される：「また、その人の性格が垣間見えたのも面白かったです。押し黙る人、しゃべりすぎる人、流されやすい人等々、奔の立ちまわしにはビタリのゲームではないかと思えました。ぜひ一度お試しあれ。



◆ 4月サロン報告 ◆

「ナイショツウワ〜」ビシッ！
各々が練習に打ち込んだ今回のサロン。〇〇からの温かい？指導を練り交せ交々、楽しく遊びながら交流を図ることができました。また今回は総務広報委員会・名島委員長あすか委員の紹介で、16号泊いで石川カレージを営んでいる石川祐太郎と現役キックボクサー・日本フライ級チャンピオンの加藤竜二君をお招きし交流することができました。サロンの本来の意味である入会予定者が気楽に集まった場」を作れたことは、拡大友好委員会として、メンバーとして大変喜ばしいことでもあります。
今後ものように予定者が集まれる場を作っていきますので、皆様のご協力をお願いします。また今回もご参加いただきました〇〇の皆様にはお礼申し上げます。



拡大友好委員会 委員 佐々木徳夫

5月サロン案内



次回サロンを下記日程で行います。
今回は事務局より予定者、〇〇の皆さんと気楽な飲み会を致します。
お話しするもよし、ゲームをするもよし、何より楽しい時間を過ごせればと考えています。
皆様、奮つての参加お待ちしております。
日時：5月21日(金曜日)
時間：20:00〜
場所：事務局

佐藤 和義 君 5月30日生まれ

今月の誕生日

今月のコラム

「ゆとり」ストレス？
ゆとりについて考えました。この所多社でゆとりがなく良い仕事が出来ているか悩ました。
「ゆとりの対義語は「ストレス」？ ストレスになてはいるのは何？ J.C.？ 家族？ 仕事？ 何か違うかな気がする。そう思うと、考えに考え、他人のせいではなく、自分にゆとりが無く他に理由を押し付けていた様な気がします。多くの新しい事を覚えたり、学習したり、記憶、経験、など等、脳みそをフル活用して、ほかの事に注意散漫になつてしまっていた。
かすし「ゆとり」と言う甘いあめ玉を食べべしまつと、ストレスをサボる事にあたり前になつてしまひ、逃げ出してしまうのでは？ などと考えています。
その反対も考えました。「ゆとりの無い状況は、余給が無く、のど迫して、注意散漫、人の事を思いやれない、などを、悪いイメージが浮かびまきまきしたが、すべてはストレスからではなく「ゆとり」と言うあめ玉の味を忘れ走り過ぎていたのでは？かなあ」と個人的には思つてます。ほんの少しの「ゆとり」と言う時間や環境を作り、次の仕事にチャレンジをする！とはいへ、自分は弱い人間なのであめ玉はたくさんほしいです。多少のストレスで人間はたぐん起して、多量の「ストレス」で成長する。過剰の「ゆとり」は壊すし、「ゆとり」なしは「ゆとり」でも危険だ！そんな事を考えながら活動をしている毎日です。
総務広報委員会 委員長 名島健二

理事長の言葉

「志」一人ひとりの情熱を持って「絆」

「感謝」
2010年度が始まり早4ヶ月が過ぎようとしています。あつという間に3分の1が終わつた事になります！私が理事長をさせて頂いてからこの4ヶ月間を振り返り日々感じている事があります。それは「感謝」です。今回の記事は、私の現在の感謝を書きたいと思ひます。
始めにここで〇〇会の人事に新しく「顧問、副会長、専務」が加わり具体的な現役との合同事業等も企画して頂いたりと、益々先輩との距離が近くなり、「ごうから私たちが現役の相談にも快くのつて頂いている〇〇会の先輩方に心から「感謝」してあります。



また日ごの活動を理解して頂き、多大なご支援ご協力を頂いている特別会員、賛助会員の皆さまに心から「感謝」致します。私たちの活動に深い理解を賜り、「協力と、期待をしてくださっている、地域団体の皆さまに心から「感謝」してあります。
私を色々な角度から支えてくれ、委員会を見守りながら日々活動して頂いている執行部の皆さまに「感謝」。一年間を通して、自身の委員会に課せられた運動、事業は？を日々投索しながら、仕事と家庭と「活動を最初に取り組んでくれた各委員長に「感謝」。日ごから一人ひとりの活動状況を聞く、委員長を支える委員長と一緒に悩み、団結をして突き進んでくれている委員会メンバーに「感謝」。同志として何よりも大切なものは、「感謝する心」と「共通の目標」ではないかと思う。もともと他人同士が、一緒に生き抜いて行くか決めた、いわば共同体としての「責任」と「信頼」と「励まし合い」



2010年度、残り8ヶ月間を個々の活動と全体間の〇〇の「責任」と「信頼」と「励まし合い」を持って、「感謝する心」を忘れず、「共通の目標」で、より「絆」を深め、今後の運動に邁進して参りたいと現役を代表して決意致します。最後に連日の様に仕事と「活動」、その他の活動等で飛び回っている私を陰ながら毎日支えてくれている妻と家族に心から「感謝」する



第33代理事長

入江 誠一

